

情報処理教育センターと新システムの紹介

藤村, 直美
九州大学情報処理教育センター

<https://doi.org/10.15017/6767963>

出版情報：情報処理教育広報. 6 (1), pp.2-14, 1983-08. Educational Center For Information Processing, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



情報処理教育センターと新システムの紹介

藤村直美*

1. はじめに

九州大学情報処理教育センターは昭和58年4月に新システムFACOM M-360を導入した。新システムの導入に際しては稼働開始が5月になるなど利用者の方々にはご迷惑をおかけしたが、5月2日の本稼働以後、大きな問題もなく順調に運転されている。新システムになってから、新しく開講された講義も多く、文系地区端局の開設もあってか、利用者数も昨年に比べてさらに伸び、TSSのジョブ件数等、利用実績も大幅に伸びている。

新システムの構成等については、先の「広報」Vol. 5 No. 2や新しい「利用の手引き」に掲載しているが、実際に計算機システムを導入して運用に入った結果、さらに使い勝手をよくするため、一部TSS端末の種類や配置等を変更した。その結果、「利用の手引き」に掲載しているTSS端末とプリンタの配置や端末番号が現状と合わなくなっている部分があるので、ここであらためて、情報処理教育センターとFACOM M-360システムの最終構成について紹介することにする。

2. センターおよび端局の所在地

情報処理教育センターの設立当初は、箱崎地区センターと病院および六本松地区の端局で運用を開始したが、今回学内措置によってかねてから要望が強かった文系地区に端局が設置された。情報処理教育センターを利用する学生は毎年相当な数にのぼっているが、情報処理教育センターの所在地や設備について詳しいことを知らない教官・職員もおられるようである。ここではセンターと各端局の所在地を示すので、関心のある方は是非一度見学され、最新の設備を有効に利用していただくようお願いしたい。

情報処理教育センターと文系地区端局の所在地を図1に、六本松地区端局の所在地を図2に、病院地区端局の所在地を図3に示す。箱崎地区のセンターは情報処理教育センター登録者であれば誰でも使用できるが、各端局の情報処理教室は原則としてそれぞれの地区に所属する登録者のみが使用できる。

* 情報処理教育センター

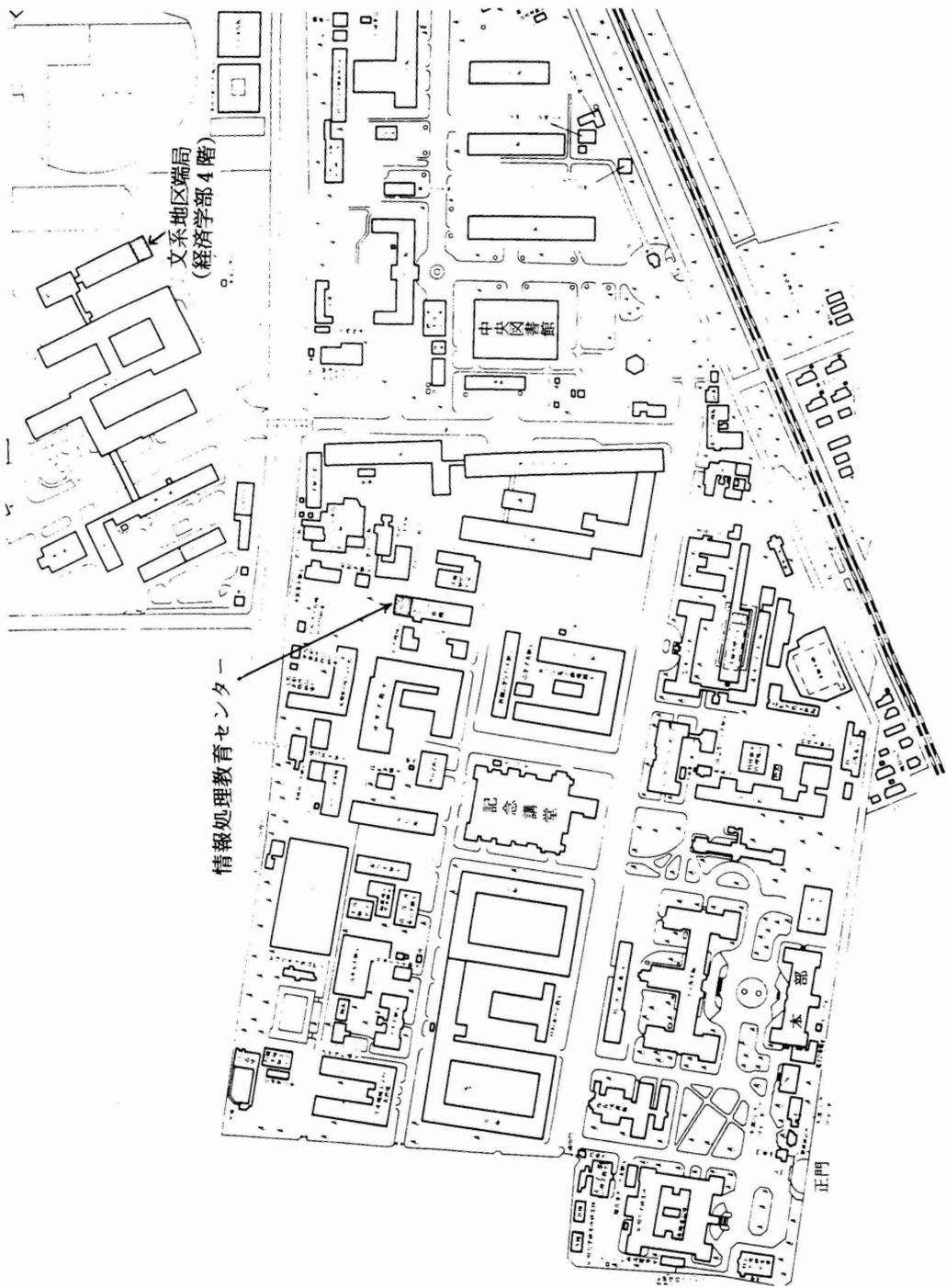


図1 情報処理教育センターと文系地区端局所在地

3. ハードウェア概要

3. 1 システム構成

昭和58年5月現在のFACOM M-360システムの主要な機器は次の通りである。詳細なシステム構成を図4に示す。

- CPU : FACOM M-360
- 主記憶容量 : 16MB
- 磁気ディスク装置 : 12スピンドル (5352MB)
- 磁気テープ : 2台
- 日本語ラインプリンタ : 1台
- カードリーダー : 1台
- XYプロッタ : 2台
- TSS端末, プリンタ : 次の通り

場所	Aカ	As	Aj	Gf	Gs	Pr
講義室	4	1		6+1大 2+1APL	4006×2	1カ
実習室		8				1カ+1s
オープン	7	5				1カ+1s
端末室						1カ+1s
教養部	5	2				1カ+1s
病院	6	6				1カ+1s
文系	8	3		4006, 4014, 4025	1カ+1s	
I/O室	1	1	2			バトミントン
教官室等		1	4			
合計	68	70	6	8+1大 +1APL	10	5カ+5s+ バトミントン

(注) 端末の種類は以下の通り

- Aカ カナ仕様のキャラクタディスプレイ
- As 英小文字仕様のキャラクタディスプレイ
- Aj 日本語用のキャラクタディスプレイ
- Gf グラフィックディスプレイ (F9430)
- Gs グラフィックディスプレイ (SONYテクトロニクス)
- Prカ カナ仕様のプリンタ
- Prs 小文字仕様のプリンタ

ただし一般利用者がすべての機器を使えるわけではないので注意されたい。

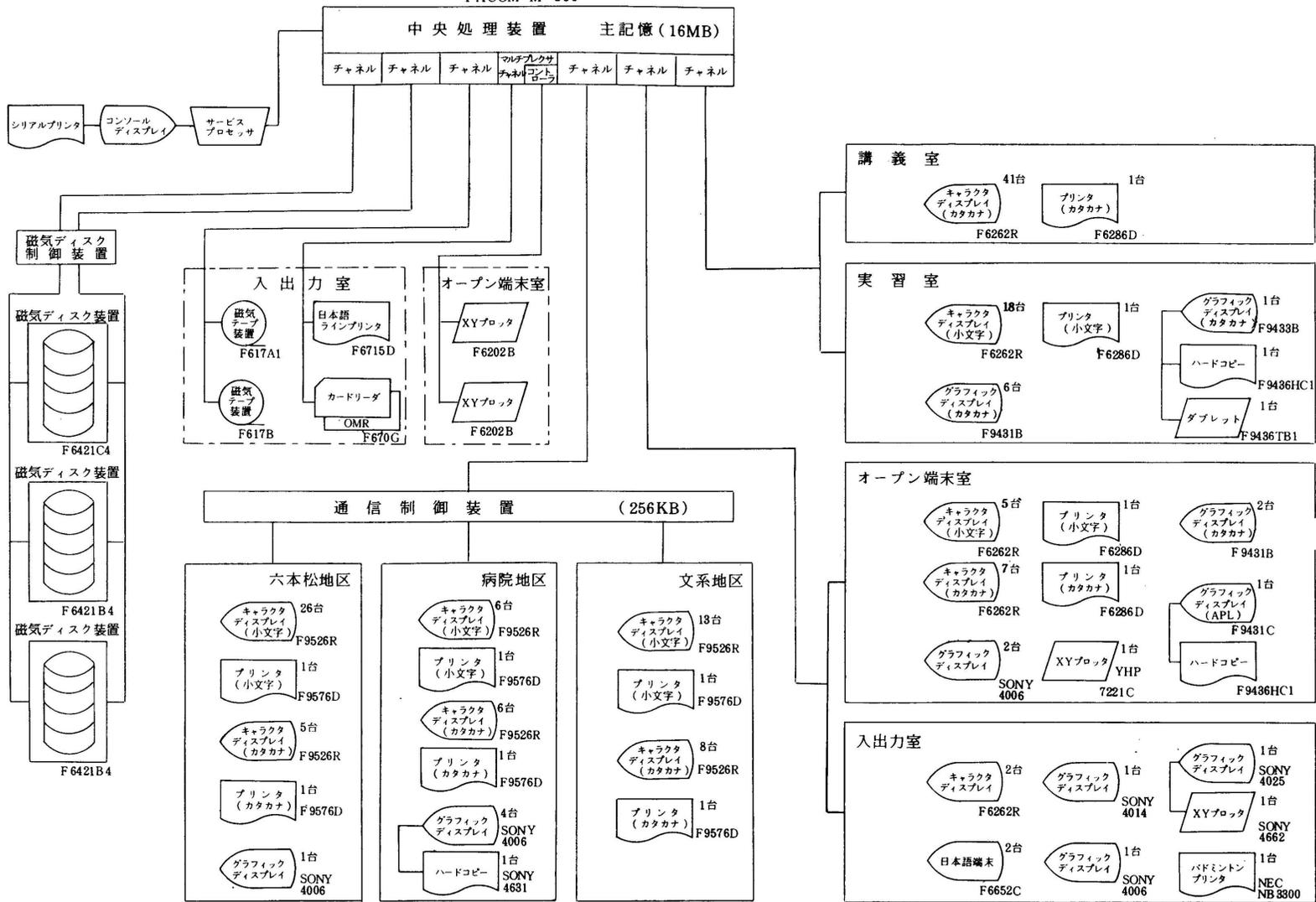


図4 システム構成図

4. 端末装置等の配置

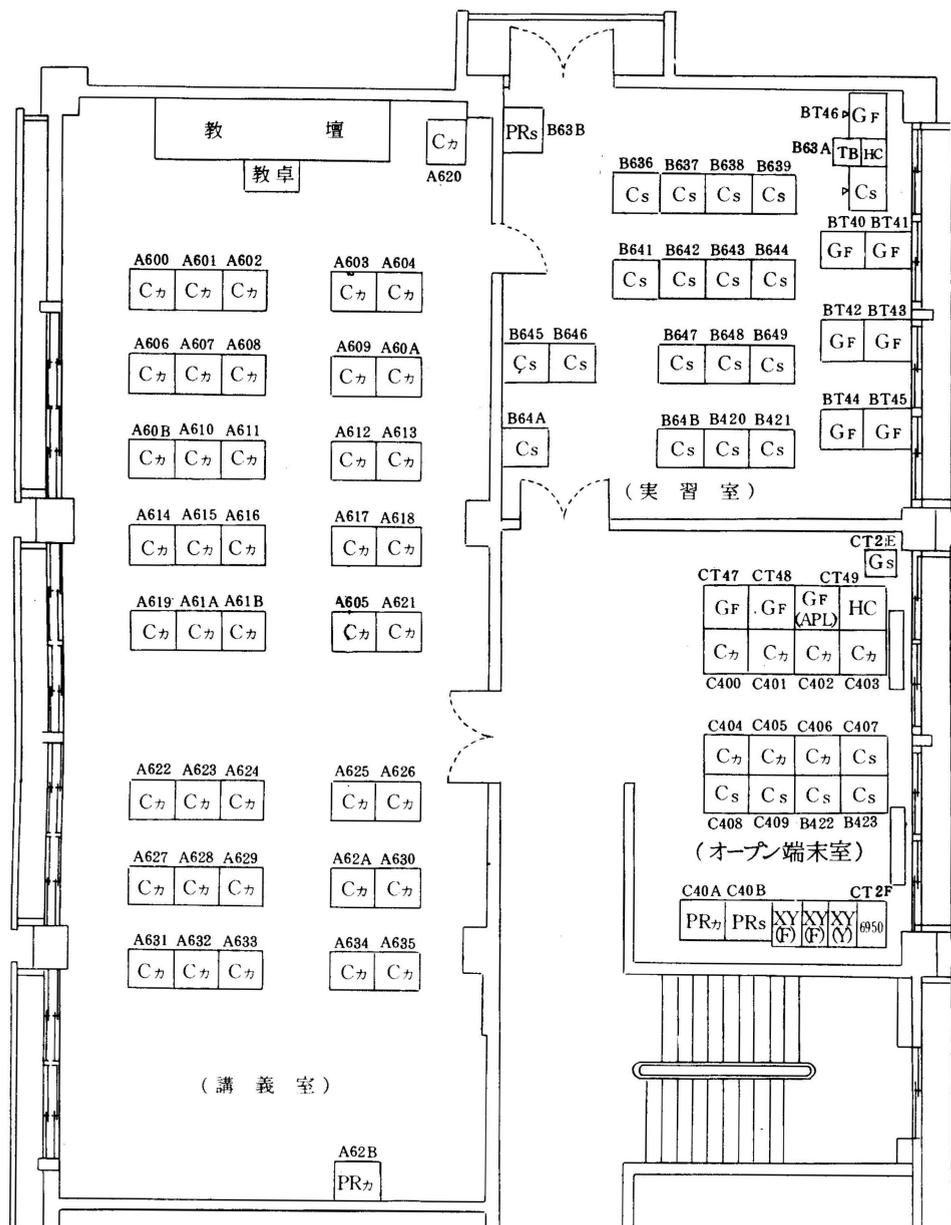
(1) 情報処理教育センター4階講義室等

情報処理教育センター4階の講義室、実習室、オープン端末室におけるTSS端末とプリンタの配置を図5に示す。講義室には、カナ仕様のキャラクタディスプレイ（F6262R）が41台（うち1台は教官用）とカナ仕様のプリンタ（F6286D）が1台が設置されている。

実習室には英小文字仕様のキャラクタディスプレイ（F6262R）が18台（うち1台は教官用）、カナ仕様のグラフィックディスプレイ（F9431B）が6台、カナ仕様のグラフィックディスプレイ（F9433B）（教官用、タブレット、ハードコピー装置付き）が1台、英小文字仕様のプリンタ（F6286D）1台が設置されている。

オープン端末室には、カナ仕様のキャラクタディスプレイ（F6262R）が7台、英小文字仕様のキャラクタディスプレイ（F6262R）が5台、カナ仕様のグラフィックディスプレイ（F9431B）が2台、APL仕様のグラフィックディスプレイ（F9431C）（ハードコピー装置付き）が1台、カナ仕様と英小文字仕様のプリンタ（F6286D）が各1台の計2台、XYプロッタ（F6202B）が2台、さらにSONYテクトロニクス社のS4006グラフィックディスプレイが2台設置されている。

なお、講義室と実習室の教官用端末（A620、B63A）は、キーボード左手前のPRINTキーをおすと、それぞれの部屋のプリンタ（A62B、B63A）へTSS端末の画面のハードコピーがとれるようになっている。



- | | |
|-------------------------------------|---|
| Cカ キャラクタディスプレイ (カタカナ付) | PR プリンタ (カ…カタカナ
s…小文字) |
| Cs " (小文字付) | XY XYプロッタ (F…富士通
Y…横河ビューレット/ピカード) |
| GF グラフィックディスプレイ [富士通] (小文字付) | 6950 キャラクタディスプレイ [NEC] |
| GF (APL) " [富士通] (APL付) | HC ハードコピー |

図5 情報処理教育センター4階配置図

(2) 六本松地区端局

六本松地区端局におけるTSS端末とプリンタの配置を図6に示す。英小文字仕様のキャラクターディスプレイ (F9526R) が26台 (うち1台は教官用), カナ仕様のキャラクターディスプレイ (F9526R) が5台, 英小文字仕様とカナ仕様のプリンタ (F9576D) が各1台の計2台, ソニーテクノロジスのグラフィックディスプレイ (S4006) が1台設置されている。なお, 教官用端末 (HC00) は, キーボード左手前のPRINTキーをおすと, プリンタ (HC0B) へTSS端末の画面のハードコピーがとれるようになっている。

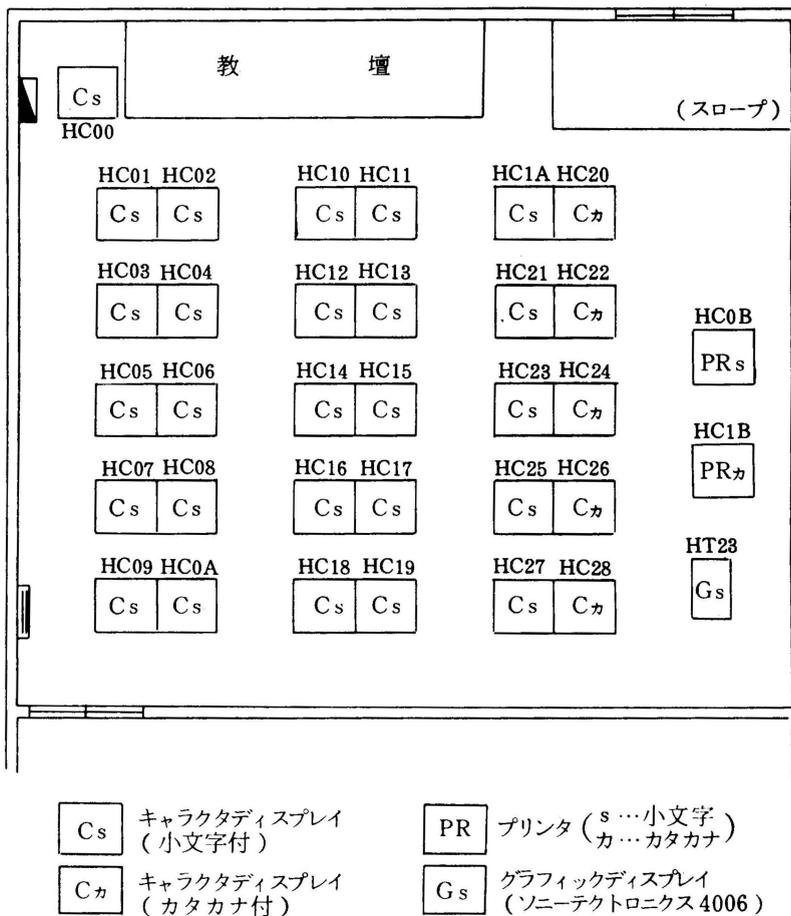


図6 六本松地区端局配置図

(3) 病院地区端局

病院地区端局におけるTSS端末とプリンタの配置を図7に示す。カナ仕様と英小文字仕様のキャラクターディスプレイ（F9526R）が各6台の計12台、カナ仕様と英小文字仕様のプリンタ（F9576D）が各1台の計2台、ソニーテクノロジのグラフィックディスプレイ（S4006）が4台、S4006用のハードコピー装置が1台設置されている。

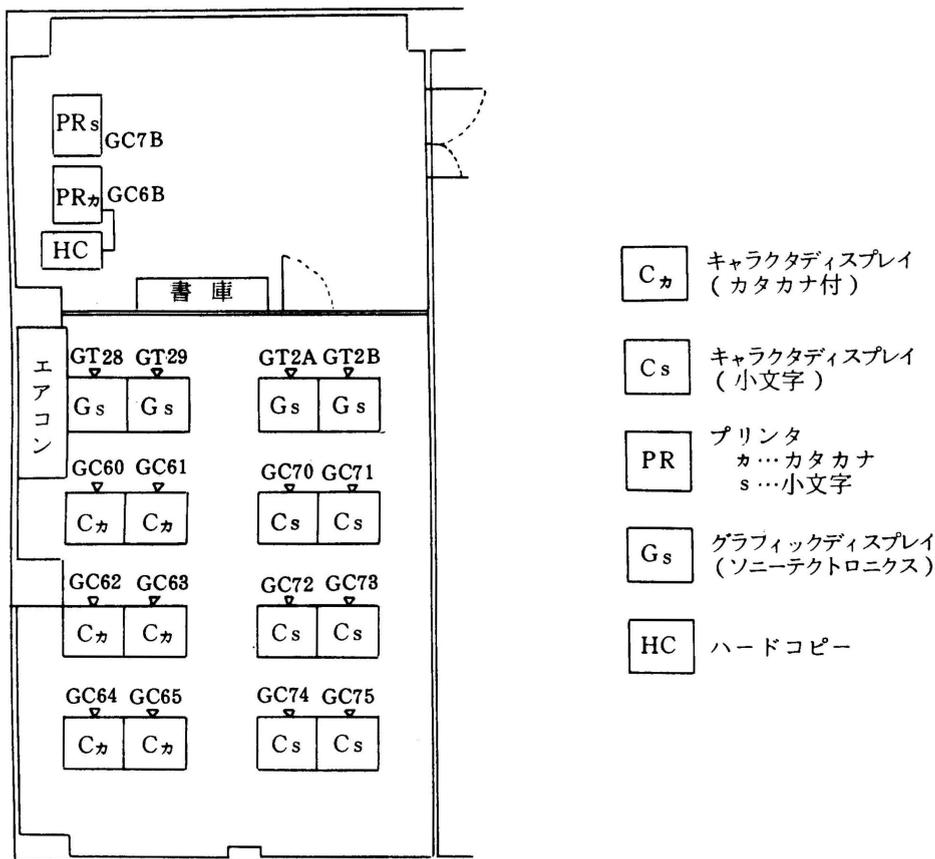
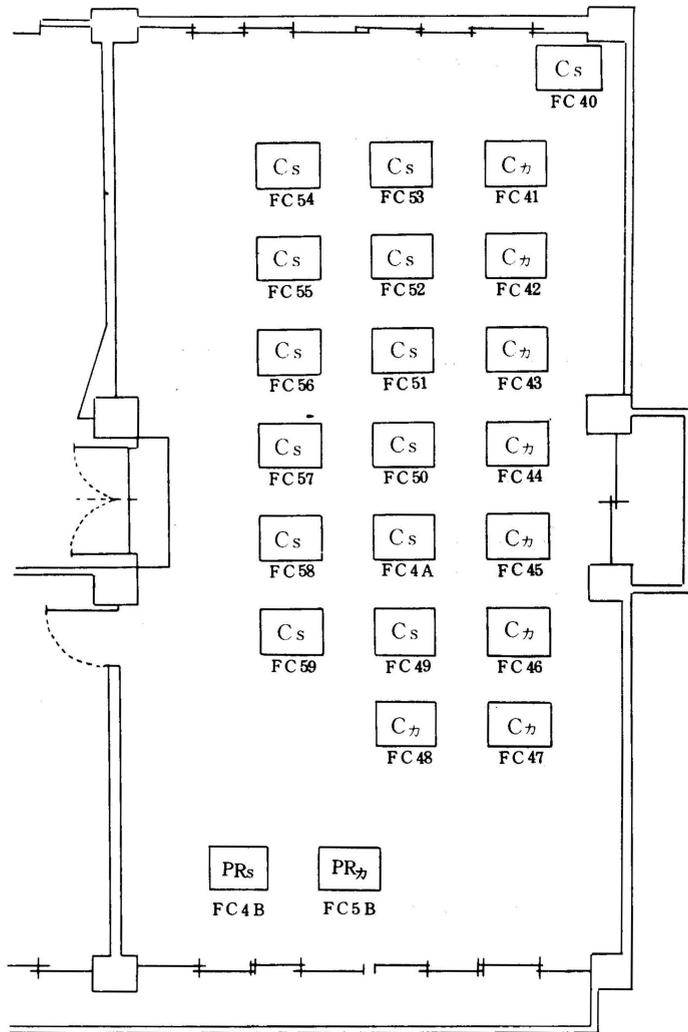


図7 病院地区端局配置図

(4) 文系地区端局

文系地区端局におけるTSS端末とプリンタの配置を図8に示す。英小文字仕様のキャラクタディスプレイ（F9526R）が13台（うち1台は教官用）、カナ仕様のキャラクタディスプレイ（F9526R）が8台、英小文字仕様とカナ仕様のプリンタ（F9576D）が各1台の計2台が設置されている。なお、教官用端末（FC40）は、キーボード左手前のPRINTキーをおすと、プリンタ（FC4B）へTSS端末の画面のハードコピーがとれるようになっている。



- Cカ キャラクタディスプレイ
(カタカナ付)
- Cs キャラクタディスプレイ
(小文字付)
- PR プリンタ
(カ…カタカナ
s…小文字)

図8 文系地区端局配置図

(5) 情報処理教育センター 6階入出力室

情報処理教育センター 6階の入出力室における T S S 端末等の配置を図 9 に示す。ここには日本語処理用のキャラクタディスプレイ (F 6 6 5 2 C) が 2 台、英小文字仕様のキャラクタディスプレイ (F 6 2 6 2 R) が 1 台、カタカナ仕様のキャラクタディスプレイ (F 6 2 6 2 R) が 1 台 (オープン MT サブシステム用)、ソニーテクトロニクス社のグラフィックディスプレイ (S 4 0 0 6, S 4 0 1 4, S 4 0 2 5) が計 3 台、S 4 0 2 5 用の XY プロット装置が 1 台、日本電気製のバトミントンプリンタが 1 台設置されている。また日本語ラインプリンタ、磁気テープ装置 2 台が設置されているが、これらの装置も含めて入出力室の装置は主として教官が使用する為のものである。その他にカードリーダーがあるが、これは主にセンターが課題登録をする為に使用している。

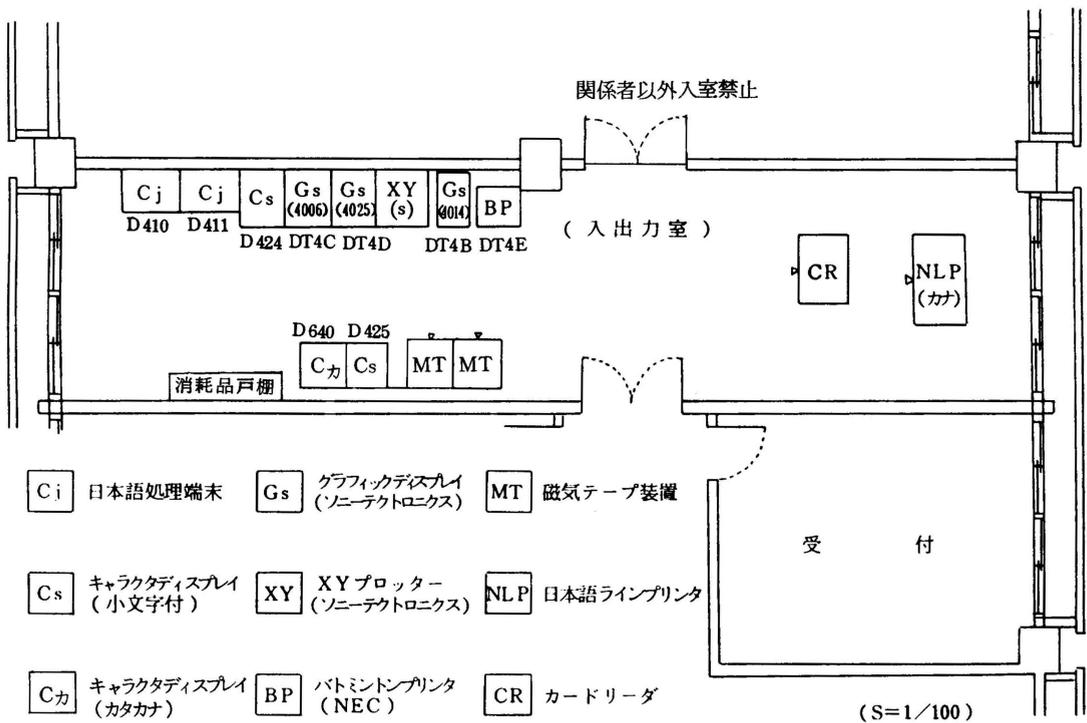


図 9 情報処理教育センター 6階入出力室配置図

5. おわりに

今回の機種更新によって、最後までリモートバッチ処理主体にしか使用できなかった病院地区端局もすべてTSS端末に置き換えられ、TSSによる使用が可能となった。箱崎地区センターや六本松地区端局もTSS端末が増え、文系地区端局ができたことと合わせて、繁忙期にTSS端末の台数が不足して使用できないといった事態は相当改善されよう。またXYプロッタやプリンタはすべてのTSS端末から同じように使用でき、大幅に使い勝手が改善されている。使用できるソフトウェアについてもさらに充実させ、使いやすくして行く予定である。これを機会に九州大学の情報処理教育がさらに拡大・発展していくよう希望している。